

科目番号	HA102				
科目名	造園学				
担当教員	多田 学 (ランドスケープアーキテクト)				
科目区分	森林環境		人材養成の方針	即戦力	リーダー
対象学年	1年		授業形態	講義・演習	
開講時期	4<6月	7~9月	10~12月	1~3月	単位数
授業時間数	15		コマ		(30 単位時間)
実務経験のある教員による授業科目	○		左の実務経験の内容	公共空間の各種造園計画・維持管理指導・講演他	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	-		左の実務経験の内容	-	
実務経験を活かした授業内容	地方自治体の「花のまちづくり」と庭園のデザインで培った経験等を基に、造園とは何か～公共空間～維持管理～造園デザインなど、造園学全般について講義を行う。				

目的	自然をよく理解した上で創造性豊かに造園学を学び、学生たちが自ら造園空間を提案できるまでに導く。	
概要	造園を自然と景観(ランドスケープ)という広い観点から捉え、自然の現状と保護・都市公園・庭園様式・維持管理・造園の素材・造園デザインなどといった造園全般を学び、同時に実際の庭園を見学する。最後に、造園計画の課題に取り組む。(講義では、言葉のみでなく、イメージで理解できるよう実例や写真等を多用する。)	
キーワード	造園、歴史(地球誕生～人類出現)、自然と破壊、法律(自然環境の保全、都市緑化)、自然公園、都市公園、公共空間、庭園様式、維持管理、造園材料、土壌、造園デザイン(計画/設計)、動線計画、土地の利用計画(ゾーニングと動線)、植栽計画	
関連する科目	造園学実習、生物学、森林計画、森林土壌学	
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
		多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	・出席率とレポート等：50% ・造園学の集大成とする課題(計画)：50%	

授業計画	テーマ	講義内容
1・2	造園とは	造園の趣旨、役割
	自然を知る	自然とは何か、地球誕生～人類出現、自然破壊
	自然を守る	日本の自然、自然環境保全の主な法律と地域指定等
	自然に触れる	海外の自然公園
3～5	庭園見学(1)	実際の庭園等を知る。(感想レポート提出)
6・7	自然に触れる	日本の自然公園(国立公園等)、都市緑化の主な法律、都市公園・公共緑地等、シンガポールの緑化事例
	造園空間の姿	世界の庭園様式(庭園史)
	造園を維持する	造園空間の管理内容(施肥・剪定・病虫害防除など)と管理方法
8・9	造園を維持する	造園空間の管理内容と管理方法・ボランティア
	造園の素材と土壌	造園に用いる植物・石等の素材と植栽のための土壌
	造園デザイン	デザインとは何か、造園図面の種類、製図用具
	課題説明	造園学の集大成とする課題(与えられた条件下で、各学生が造園空間の計画を行う)について説明。
10～13	庭園見学(2)	実際の庭園等を知る。(感想レポート提出)
14・15	造園デザイン	造園デザインの基礎(計画・設計の流れ、構想と基本構成の計画、ゾーニングと動線の計画、基本構成の具体化と演出の手法、植栽計画と植栽図作成の方法、図例解説)

テキスト	講師作成による資料。
参考書	造園計画(海文堂出版)、ランドスケープアーキテクトになる本 I・II(マルモ出版)、1級造園施工管理技士試験 第二版(彰国社)ほか

関連する資格	森林情報士2級、樹木医補
備考	